

5月 保育の広場

R5.5.1

現在、幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」を指針とした集団生活・幼児教育をどの保育施設でも同じ方向性をもって行われています。「10の姿」は、小学校入学までの幼児期に養っておきたいことを10項目として具体的に示したものです。子どもたちは、ただ遊んでいるように見えても、その遊び、経験の中で様々な成長をしています。那珂こども園では、クラスだよりの吹き出しの横に、その活動でみえた「10の姿」を入れています。どんなことを園で経験し、学んでいるのかを、この保育の広場と照らし合わせながら、クラスだよりを読んでいただき、子どもたちの成長を喜び、見守っていただけたらと思います。

健康な心と身体

- ・自ら健康で安全な生活を作りだしていく。



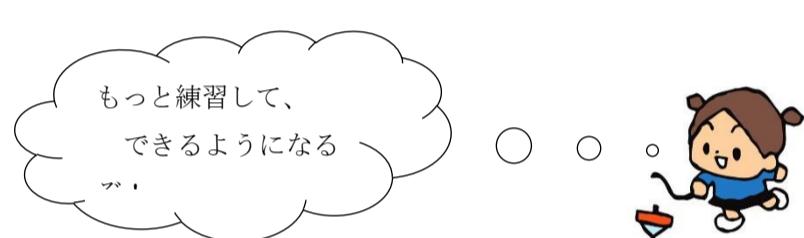
思考力の芽生え

- ・予想したり、工夫したり、考え直したりする。



自立心

- ・自分の力で思い巡らし、諦めずにやり遂げる。



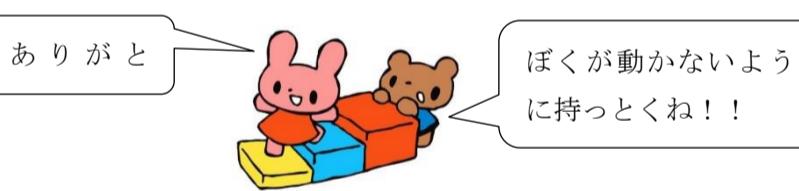
自然との関り・生命尊重

- ・自然に触れて感動し、命あるものを大切にする。



協同性

- ・友達と考えを共有し、協力してやり遂げる。



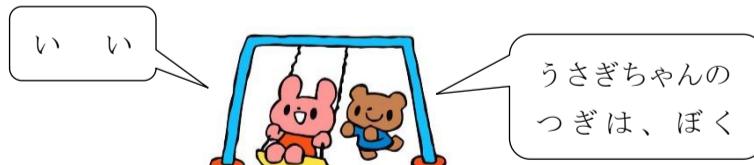
数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚

- ・遊びの中で数や文字などに触れ、関心・感覚が高まる。



道徳性・規範意識の芽生え

- ・相手の立場に立ったり、決まりを守ったりする。



言葉による伝え合い

- ・絵本などに親しんだり、言葉で伝えあつたりする。



社会生活との関わり

- ・社会とのつながりの意識などが芽生える。



豊かな感性と表現

- ・感じたことを自分で表現することを楽しみ、意欲が高まる。

